

平成 26 年第 2 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	21	門間 忠	<p>1 行政区長と選挙について</p> <p>(1) 議会議員選挙の投票率低下をいかに受けとめているか</p> <p>(2) 行政区長の位置づけと選挙のかかわりについて</p> <p>(3) 特別職の公務員となり得るのか</p> <p>2 施政方針について</p> <p>(1) 行政改革推進による持続可能な市政運営に取り組んできたが、一方で非正規職員の増加による官製ワーキングプアを生み出している状況にある。今後の行政改革の基本をいかに考えているか</p> <p>(2) 人口減少社会の中で、総合的な施策の展開を図るためにプロジェクトチームを立ち上げるとしているが、具体の構想はどういうものか、また市内の公共箱物等の再編計画が必要となるのではないかと、伺う</p> <p>(3) 市民病院本院の開業により、誇れる医療健康都市が実現するが、健康寿命の延伸が重要施策となる。具体のビジョンを示すべきでは</p> <p>(4) 乳幼児医療費補助制度の拡充は、保育所待機児童の減少と合わせ子育て日本一のスタートになるが、さらに子供を大事にする施策を構築してアピールできるようにすべきではないか</p> <p>(5) 中心市街地復興まちづくり計画の推進が課題であるが、各地域の中心市街地の復興再生も地方元気戦略として課題となる。地域元気計画を議論し具体化すべきではないか</p> <p>(6) 農業振興策は多岐にわたるが、基本となるものは生産現場の強化であり、集落営農の推進が必要ではないか</p> <p>(7) 自然エネルギーの大宗を占める太陽光発電事業への支援を行うべきではないか</p> <p>(8) 汚染牧草の未集積分の改善と、堆肥化等の処理は考えられないか</p>
2	22	木内知子	<p>1 安心して子育てができる支援策について</p> <p>(1) 子どもの医療費助成事業において、通院を中学校3年生まで拡大する時期について</p> <p>(2) 学校給食費半額助成について</p> <p>2 新市民病院本院開業に向けた利便性の高い地域公共交通体系づくりについて</p> <p>(1) 幹線、広域路線の新病院経由の運行ルート等の変更はいつ行うのか</p> <p>(2) 乗り継ぎ案内の体制はつくられているのか</p> <p>(3) 地域内交通で応え切れない住民要望には、どのような対策を講じるのか</p> <p>3 安心・安全な住みよい環境づくりについて</p> <p>(1) 松山駅前区の公用地の活用策について</p> <p>(2) 松山駅前ライフシティマリスの公園、広場、調整池の整備について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	17	山田和明	1 大崎市の空き家政策について (1) 空き家の撤去費用を助成することについて (2) 空き家対策条例に踏み切れない理由について (3) 定住促進のための空き家の改修費補助について 2 地域包括ケアシステムの推進について (1) 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みについて (2) 協議会の設置について 3 肥育農家の経営安定について (1) 肥育農家, 農協, 大崎市の三者による協議の場の設置について (2) 東京市場, 子牛市場の調査について 4 防災行政無線整備事業について (1) デジタル式戸別受信機の配備について
4	14	只野直悦	1 スポーツの振興について (1) 地域づくりとスポーツの振興について ア 合併9年目を迎え, 地域づくりと市民の一体感の醸成の観点から, 市民のスポーツ交流についてのプランはあるのか イ 地域を結ぶ「大崎縦断駅伝大会」の実現を (2) 園児, 児童, 生徒の体力づくりについて ア 「おおさきがんばっぺスポーツの日」等, 新たな取り組みと体力の向上について イ 小学生のスポーツ大会や記録会の開催について ウ 活躍した子供たちのたたえ方について 2 観光振興について (1) 地域活性化を図る観光振興について ア 大崎市観光振興ビジョンをどう進めていくのか イ 教育旅行やグリーンツーリズムの推進と課題について 3 国内都市交流について (1) 大阪府田尻町との交流再構築について ア 交流再構築の進捗は
5	13	遊佐辰雄	1 震災後危険性のある空き家等建造物の公費解体について (1) 現状認識と危険性 ア このまま放置すれば大事故につながる空き家等の建造物をどう把握しているのか。その対策はどうか (2) 旧ホテル湯泉楼の現状と近隣住民の不安解消への取り組み (3) 条例制定も検討すべきである 2 スクールバスの運行拡充について (1) 少子化傾向の中, 通学の安全対策にもつながるスクールバスを運行拡充すべきではないのか (2) 鳴子中学校の冬期間だけのスクールバス地域を通年運行にすべきではないか 3 川渡大橋と中山・三幸橋の架け替えについて (1) 老朽化と狭隘の川渡大橋と中山・三幸橋の改修計画を急ぐべきと考えるが

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
6	9	木村和彦	<p>(2) 川渡大橋の歩道に防風パネルを早急に設置すべきだ</p> <p>4 指定廃棄物最終処分場の候補地の撤回について</p> <p>(1) 3候補地の選定を「白紙」に戻すべきではないか</p> <p>(2) 農産物生産地、観光地・大崎市としても対岸の火事では済まされない。特に、加美町・田代岳は鳴子温泉・岩堂沢ダム周辺地区と近接し、分水嶺にもなっている。加美町と連携して白紙撤回を求めるべきだ</p> <p>1 大崎の交通軸の整備について</p> <p>(1) 国道4号の拡幅への取り組み</p> <p>(2) 市民病院開院後の交通体系の見直し</p> <p>(3) 古川地域循環道路整備</p> <p>2 震災復興の支援事業の周知について</p> <p>(1) 被災住宅の修理助成、取得に対する助成制度などの周知策</p> <p>(2) 震災で被災し、仮復旧されている市道の本格復旧は</p> <p>3 図書館等複合施設の建設について</p> <p>(1) 施政方針の中で、誰もが利用しやすく、居心地の良い空間とは、また中心市街地の集客の核とはどのようなイメージか</p> <p>(2) 建設手法について、地域活性化は図れるのか</p>
7	19	氏家善男	<p>1 人口減少社会について</p> <p>(1) 市内プロジェクトチームの立ち上げと内容について</p> <p>(2) 第三者機関について</p> <p>(3) 実効性ある政策の展開について</p> <p>2 農業振興について</p> <p>(1) 新たな米政策への対応</p> <p>ア 対象地区の拡大、啓蒙と現状について</p> <p>イ 中山間事業の指定地拡大の見直しはあるのか</p> <p>3 市民病院について</p> <p>(1) 交通アクセスについて</p> <p>ア 古南1号線の事業完了予定は</p> <p>イ 東北自動車道緊急退出路の供用開始時期</p> <p>ウ シャトルバスの運行について</p> <p>(2) 医師、看護師のスタッフの充足状況は</p> <p>(3) 紹介制による外来患者の動向と経営について</p> <p>4 学校教育環境整備指針の見直しについて</p> <p>(1) 計画の見直しとなる現状と課題の認識について</p>
8	6	中鉢和二郎	<p>1 「ストップ少子化・地方元気戦略」を受けた市内プロジェクトチームについて</p> <p>(1) 施政方針のP3からP4に掲載された日本創生会議・人口減少問題検討分科会が発表した「ストップ少子化・地方元気戦略」を受けた取り組みとして、市内プロジェクトチームを立ち上げ対応することだが、プロジェクトチームの詳細と、いつまでにどのような成果を出すのか、伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
9	25	小沢和悦	<p>2 吹上高原整備の見直しについて</p> <p>(1) 昨年3月、吹上高原整備基本計画がまとまった。基本計画によれば、H25 基本設計、H26 実施設計と明記されている。しかし、現時点計画の進捗が全く見えない。来年度は国道108号花淵山バイパスが開通する見通しだが、このバイパス開通に合わせ、施設整備を図り地域活性化の起爆剤にするとの思惑は水泡に帰した感があるが、所見を伺う</p> <p>3 温泉熱利用と鳴子温泉地域の振興策について</p> <p>(1) 温泉番付東の横綱と呼ばれる鳴子温泉だが、過疎、少子高齢化、観光客の入り込み数の伸び悩み等々多くの課題を抱えている。そこで、温泉の熱利用（再生可能エネルギー）で鳴子温泉地域の地域振興を図れないか。温泉熱を活用した商品開発（乾燥野菜、乾燥フルーツ、温泉豚、温泉キャビア、温泉トマト等々）、温泉熱を活用したエコな温泉地、エコツアー、エネツアーのような新たな観光の魅力の提案、（仮称）温泉地熱博物館などの展示施設といった様々な取り組みが考えられるが、所見を伺う</p> <p>4 東京オリンピックを大崎市の復興のてこにできないか</p> <p>(1) 2020年開催予定の東京オリンピックでは、東日本大震災からの復興の一環として32の被災地支援策を計画していると聞かすが、大崎市においても何らかのかかわりを持ち、その取り組みを復興のてこにすべきと考えるが所見を伺う。特に、前回（1964年）開催時には、選手役員への記念品として1万本のこけしを製作したと聞かすが、こけしや鳴子漆器を記念品に再度採用していただくようJOC等への働きかけはできないか</p> <p>1 市長公約の「公共交通システムの充実と新病院までの循環バス運行」について</p> <p>(1) 「新病院までの循環バス」とは、古川駅と市民病院新本院を直結する「シャトルバス」のことか。別に、利便性の高い「循環バス」を運行するという公約だが</p> <p>(2) 若葉町や諏訪地区町内会からの緊急要望にどう対応するのか</p> <p>(3) 市長の目指す「公共交通システムの充実」とは、市内各地域と古川地域中心部を結ぶ「幹線路線」体制構築と合わせ、今の地域内交通では満たされない住民要望に応える改善策を講じるのか</p> <p>2 中心市街地復興まちづくり計画の推進について</p> <p>(1) 大崎地域広域消防本部移転用地等確保見直しと買収予定時期</p> <p>(2) 市民から期待の大きい「道の駅」構想の具体化に向けた国土交通省の認可取得手続き等、これから取り組む市長の姿勢について</p> <p>3 三本木県有地へのパークゴルフ場整備事業について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	27	佐藤 勝	<p>(1) 交通アクセス等最適と考えられる場所及び規模</p> <p>(2) 整備の事業主体及び運営管理体制, 並びにオープンまでのスケジュール</p> <p>(3) 地域経済活性化につなげることについて</p> <p>1 おおさき産業維新・環境都市づくりの公約と推進指針を伺う</p> <p>(1) 産業振興計画の進行管理と数値目標と推進体制は</p> <p>(2) 「食と農」の大崎市のオリジナル施策は何か</p> <p>(3) 「ものづくり」と「にぎわい」を生み出す活性化への工程と推進は</p> <p>(4) 観光と 20 万都市, 若年人口の定住について</p> <p>(5) 再生可能エネルギー政策と新たな産業創造への取り組みの組み立ては</p> <p>(6) 鳴子温泉・向山地域を山村再生のモデルに</p> <p>(7) 市長の 8 年間の産業振興計画の総括と 3 期目の戦略と伊藤ブランドの確立は</p>
11	4	氷室勝好	<p>1 スポーツ振興施策について</p> <p>(1) 施設の設定充実と有効活用について</p> <p>2 道路建設整備について</p> <p>(1) 市道下伊場野山王線の基本的な構想について</p> <p>3 雨水対策の整備について</p> <p>(1) 浸水, 常襲冠水地区の整備について</p> <p>4 商業振興について</p> <p>(1) 各地域の中心市街地活性化とその振興策について</p> <p>5 人口減少について</p> <p>(1) 経済成長や財政, 社会保障等維持に困難になると予測されているが本市としての取り組みについて</p>
12	28	大山 巖	<p>1 本市における第三セクターに関する改善策について</p> <p>(1) 政策評価の視点も踏まえた第三セクターの強化を図る必要があると思うが, 本市では具体的にどのような対応しようとしているのか</p> <p>2 地元業者育成と雇用対策について</p> <p>(1) 本市内の土木業, 建築業の技術者の育成について, 市長の所信を伺う</p> <p>(2) ニート者の雇用対策は</p> <p>3 道路の整備について</p> <p>(1) 市道及び私道の整備の問題点</p> <p>(2) 道路里親制度導入について</p> <p>4 空き家情報と活用対策について</p> <p>(1) 市内の空き家物件情報のホームページでの活用策は</p> <p>(2) 定住促進対策と過疎対策の推進</p> <p>(3) 新規就農者の確保と農業後継者の育成</p> <p>5 高齢者対策について</p> <p>(1) 高齢者世帯に自動消火装置配備をしてはどうか</p> <p>(2) 高齢者に温泉療法での医療費引き下げをしてはどうか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	16	富田文志	<p>1 消防防災の現状と課題について</p> <p>(1) 火災発生数の年度別比較と火災発生傾向</p> <p>(2) 火災通報から消火開始までの所要時間（最大と最少，平均）</p> <p>(3) 常備消防と非常備消防の役割分担（消火作業時の連携）</p> <p>(4) 消火栓，消火水槽，防火ため池の現状（実数）と必要予定数</p> <p>(5) 合併前の1市6町の消防関係予算額と大崎市の予算額の年度比較</p> <p>(6) 小型ポンプ積載車の新規配備計画と更新計画台数</p> <p>ア 新規配備が目標数に達することを優先すべき</p> <p>(7) 消防体制の過疎地域と解消のための対応策は</p>
14	5	佐藤弘樹	<p>1 大崎市将来像について</p> <p>(1) 職員提案制度及び人財育成推進の現況</p> <p>(2) 産業振興策で最優先すべき取り組み</p> <p>(3) 新市民病院本院と分院経営の見通し</p> <p>(4) 各庁舎建設を見据えた総合支所機能</p> <p>(5) 定住化促進につながる魅力ある施策展開</p> <p>2 施策課題対策について</p> <p>(1) 鹿島台駅周辺整備事業に伴う駅東東西線周辺の開発計画</p> <p>(2) JR東北本線のダイヤ改正</p> <p>(3) 防災行政無線整備事業に伴う戸別受信機等の配備計画</p> <p>(4) 新市民病院本院への公共交通整備時期</p> <p>(5) 防災士資格取得への補助制度創設</p>
15	15	相澤孝弘	<p>1 市長の施政方針から</p> <p>(1) 道路建設事業について</p> <p>ア 国道347号から国道47号区間の計画はどのように検討がなされているのか</p> <p>(2) 中心市街地復興まちづくりについて</p> <p>ア 事業計画作成に向けた作業の際に歴史的な背景をどのように保存活用していくのか</p> <p>(3) 排水路整備事業について</p> <p>ア 古川地域の事業促進と常襲冠水地域の整備の進め方について</p> <p>2 道路補修の取り組みについて</p> <p>(1) 地域内の傷みのひどい舗装や未舗装の維持管理について単年度で予算措置を講じて解消する必要があるのではないか</p> <p>(2) 震災で被災した橋梁の補修や架け替えの考えについて</p> <p>3 現存する古い建物への修復，維持管理費用の支援を実施する考えはないか</p> <p>(1) 震災から3年が経過する中で耐え残った古い建物が未修復や維持が負担増となっている。歴史的な価値を後世に残す観点から支援体制を示すべきではないか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	18	後藤錦信	1 過疎地域の活性化について (1) 活性化に向けての取り組みへの支援について ア 地域おこし協力隊の配置について イ 組織機構の充実について (2) 若者定住のための施策展開について 2 観光振興について (1) 宣伝, PRのあり方について (2) 鳴子温泉郷の活性化策について
17	24	青沼智雄	1 中心市街地活性化を図る諸政策について (1) 千手寺周辺地区振興対策について, 大崎市中心市街地復興まちづくり計画では「広域防災活動拠点」に整備する地区に位置付けて各種事業を実施していくとあるが (2) 災害公営住宅と周辺住宅整備について, 町なか再生は市街地に多くの人々が住む整備計画を合わせて考えるべきと思うが, 歩いて暮らせるまちづくりの実践に向けて 2 常襲冠水地帯解消を図る諸政策について (1) 小規模宅地開発から生まれる常襲冠水地帯解消を図るには (2) 開発許可申請, 建築許可申請に対する現場確認と開発指導について 3 高齢化・人口減少が続く中, 本市の産業振興を図る諸政策について (1) 本市基幹産業, 農業(稲作)の基本方針について (2) 集落営農推進と後継者対策について (3) TPP交渉の行方と本市農業推進について 4 ひまわりの丘観光事業について (1) 今春の菜の花開花の異常がマスコミに掲載された。ひまわりの丘として名をはせてきたが, 生育不良の原因とその対策について伺う
18	11	横山悦子	1 定住促進の施策について (1) 市長3期目, 企業誘致の目標, 積極的な促進について (2) 結婚活動支援について (3) 新婚さんの家賃助成について 2 消防団の今後のあり方について (1) 消防団員の処遇改善について (2) 婦人防火クラブの処遇改善について 3 子育て支援について (1) 子ども・子育て支援事業計画の策定進捗について (2) 大崎市の子ども・子育て会議の内容集約について (3) 市民の保育ニーズを分析し, 市政にどう反映させるのか (4) 本市の延長保育の条例改正について 4 孤独死予防対策について (1) 民生委員との連携強化について (2) 見守りシステムの導入について 5 大崎市民病院へのシャトルバス運行について (1) 市民平等のシャトルバス運行はできないのか

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	12	関 武徳	<p>1 大崎広域一般廃棄物処理施設整備計画に対する本市の対応について</p> <p>(1) 整備計画の推進と、立地自治体としての本市のかかわりについて</p> <p>(2) 住民不安解消と地域振興策への取り組みの考え</p> <p>2 日本創生会議・人口減少問題検討分科会からの警鐘と本市の施策展開について</p> <p>(1) 庁内プロジェクトチームによる総合施策展開はどのように取り組まれるのか。</p> <p>(2) 定住促進を図る住環境充実への施策展開の考え</p> <p>(3) 子育て支援強化と環境充実への考え</p> <p>(4) 1次産業強化及び企業誘致等産業強化施策の考え方を伺う</p>
20	8	鎌内つぎ子	<p>1 安心して子育てができ、若者が定住しやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 保育料2人目無料化について</p> <p>(2) 都市公園の整備について</p> <p>(3) 若者の定住が促進するための住宅補助について</p> <p>2 新図書館建設について</p> <p>(1) パブリックコメントや住民説明会時に出された意見や要望がどのように反映され生かされたのか</p> <p>3 市民病院の南病棟を回復リハビリテーションにするための進捗状況について</p>
21	26	大友文司	<p>1 古川東中学校の環境設備について</p> <p>(1) 校庭（運動場）の安全対策</p> <p>ア サッカーコート（ピッチ）の防球フェンスについて</p> <p>2 大崎市シャトルバスの運行について</p> <p>(1) 大崎市民病院までの運行ルートを増設</p>